

子どもたちのふれあいネットワーク「ウエルクラブ活動」

わたしの街の社協紹介

ウエルクラブ活動に取り組む

合馬校区社会福祉協議会

全国ブランド「たけのこ」で有名な合馬校区は、小倉南区の西部に位置する、田園と竹林に囲まれた美しい風景をもつ地域です。



＝曾根ウエルクラブの活動＝

業「ふれあいネットワーク」が合馬校区社協で始まって、今年で9年目。

「合馬は、みんなが顔見知り、知り合いだからね。」

都市型近郊農業地域の合馬は、大都市の中でありながら、昔ながらの地域住民の強い結束力があり、出かけるときも鍵はかけないよ、というぐら

い、以前は、ふれあいネットワークの「見守り」「助け合い」「話し合い」のしくみは必要ないようにも思われていました。

しかし、最近若者世代の流出などによる人口減少によって、ひとり暮らしの高齢者が増え、少子高齢社会の波が、合馬にも見え始めてきました。

それでも「何か

合馬校区社協は、世帯数2

をやる」となると、地域の結

に、子育て支援事業を採りあげました。

次の世代、またその次の世代に目を向けた活動として、福祉協力校である合馬小学校と夏休みの子どもたちのふれあいネットワーク「ウエルクラブ活動」に取り組みます。

子ども達に「ふれあいネットワーク」を通じたボランティア活動を体験してもらうことによつて、合馬の次世代の活動者を育むと同時に、保護者等も加わった地域住民の福祉の風土づくりを目指します。

昨年、曾根校区社会福祉協議会が、小倉南区で初めて子どもたちのふれあいネットワーク「ウエルクラブ活動」に取り組みました。初めての試みではあったものの、その成果は、関係者の期待以上に大きなものでありました。

次世代活動者育成事業である「ウエルクラブ」は、今年新たに、合馬校区社協（会長 田中一利）と徳力校区社協（会長 作本亘）が取り組

成果に注目しており、今年の実施を実現させました。

この活動が、小さな子どもたちのところに、福祉に対する気持ちを芽生えさせるだけでなく、子どもたちが自主的に参加し、活動することで、保護者にも地域福祉を考えてもらういい機会になると、各々の校区社協会長は考えています。

プチボザウルスTシャツを着たちつちやなボランティアを見つけたら応援してね！

プチボザウルス

このキャラクターは、子供たちの小地域福祉活動から生まれた社会福祉協議会のマスコットです。プチボザウルスのプチボとは、(小さな、ほんの少しの) ボランティア(福祉活動などに参加する人)の意味を持ち、「だれもが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を進める社会福祉協議会の活動をイメージしています。



この広報紙は、共同募金配分金で作成しました。

次世代へつなごう！認知症になっても安心して暮らせるまち

合馬校区社協 会長 田中 一利



ウェルクラブ活動で育む 地域福祉活動者のこころ

合馬校区社会福祉協議会

合馬校区は小倉南区の西部に位置する、世帯数220、人口約800人、「合馬たけのこ」が全国的に有名で、自然環境に恵まれた地域です。

合馬校区社会福祉協議会（田中一利会長）では、平成18年からウェルクラブ活動に取り組んでおり、今年で5年目となります。

■ 認知症サポーター小学生！！

夏休みになると、合馬小学校の子どもたちはウェルクラブ活動に参加します。この活動に参加し、地域福祉活動を体験して、子どもたちや保護者など幅広い世代に福祉の風土づくりを目指します。

合馬ウェルクラブの特徴は、毎年、地域の活動者である福祉協力員や民生委員の協力のもと、ふれあいネットワーク事業の見守り訪問活動や老人会の昼食会等に参加して、高齢者との交流を深めていることです。

今年のウェルクラブ活動では、初めて「認知症サポーター養成講座」を開催しました。子どもたちと一緒に保護者、担任の先生、福祉協力員、民生委員も受講し、小学生向けの認知症サポーター養成講座教材「認知症ってなあに？」を中心に、DVDで



合馬ウェルクラブでの「認知症サポーター養成講座」

接し方の事例を目で見て、学びました。

受講後、学んだことを活かす実践として、認知症の人が暮らすグループホームを訪問しました。相手の話に耳を傾け、話すときは視線を合わせてやさしい口調で話すなど、学んだ知識を活かして、高齢者との交流を深めました。

■ 福祉の風土づくりを目指して！

今後も次世代の地域福祉活動者育成のため、ウェルクラブ活動に「認知症サポーター養成講座」を取り入れ、地域でみんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくりを目指していきます。

次世代地域福祉活動者育成事業

－ウェルクラブ活動－

一人暮らし高齢者や障害をもっている、子育てに悩んでいるなど、地域で生活していく上で不安を抱えている人たちを、地域住民が主体となって支え合う、「ふれあいネットワーク事業」（見守り・助け合い・話し合い）が展開されています。

この住民福祉活動に子どもたちが参加し、夏休み期間を中心に、小地域活動を体験することを「ウェルクラブ活動」といいます。



↑認知症サポーター養成講座（小学生向け教材）